

高等学校 令和8年度

教科 地理歴史

科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：『世界史探究』（東京書籍）

教科 地理歴史

の目標： 地理や歴史に関する諸事象について、社会的な見方や考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】現代世界の地域と世界の歴史の展開を理解し、諸情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史の事象の意味・特色を多面的に考察し課題解決へ構想する力や、説明し議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】より良い社会実現への課題を解決する態度を養い、日本国民としての自覚、他国や他国文化を尊重することの大切さを自覚させる。

科目 世界史探究

の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開について、時期や年代、推移、比較、相互の関連性や現在とのつながりを諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能とそれぞれの時代の通史の知識を習得する。	世界の歴史の変化に関する事象の意味・意義を時期・年代・現在との繋がりに着目して、多面的に考察したり、歴史的課題を解決までを視野に入れる構想力やその内容を説明したり、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の変化に関する諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決する態度を養い、また多面的考察や日本国民としての自覚、他国や他国文化の尊重の重要性を自覚する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 【知識及び技能】 東アジアと中央ユーラシアは歴史的にどのような特質をもつようになったか、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアは歴史的にどのような特質をもつようになったか、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアと中央ユーラシアは歴史的にどのような特質をもつようになったか、主体的に探究しようとする。	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	①東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 ②東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 ③東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	
2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質 【知識及び技能】 南アジアと東南アジアは、歴史的にどのような特質をもつようになったか、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアは、歴史的にどのような特質をもつようになったか、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジアと東南アジアは、歴史的にどのような特質をもつようになったか、主体的に探究しようとする。	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	①南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 ②南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し、両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 ③東南アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	
1学期 3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺は歴史的にどのような特質をもつようになった、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺は歴史的にどのような特質をもつようになった、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺は歴史的にどのような特質をもつようになった、考察、構想したことを効果的に説明したり、主体的に探究しようとする。	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	①西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 ②西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し、自分の言葉で表現している。 ③西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	45
1章 ユーラシア大交流圏の成立 【知識及び技能】 ユーラシアと諸地域における陸と海のネットワークは、どのように広がったのか、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ユーラシアと諸地域における陸と海のネットワークは、どのように広がったの考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ユーラシアと諸地域における陸と海のネットワークは、どのように広がったの主体的に探究しようとする。	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 イスラームとモンゴルによって形成された陸と海のネットワークを理解している。 【思考・判断・表現】 イスラームとモンゴルによるネットワークの広がりがユーラシアや諸地域をどのように変えたのかについて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	
定期考査（中間・期末）			○	○		

2 学 期	<p>2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出</p> <p>【知識・技能】 交易の拡大は世界の諸地域をどのように変えていったのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 交易の拡大は世界の諸地域をどのように変えていったのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 交易の拡大は世界の諸地域をどのように変えていったのか、主体的に探究しようとする。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①14～17世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。</p> <p>②交易の拡大による諸地域の変化のうち、最も大きな変化について根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。</p> <p>③アジア諸地域間の交流について主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○
	<p>3章 主権国家体制の成立と交易の拡大</p> <p>【知識・技能】 ヨーロッパの社会構造や思想の変化の過程には、どのような要因があったのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ヨーロッパの社会構造や思想の変化の過程には、どのような要因があったのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの社会構造や思想の変化の過程には、どのような要因があったのか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①17～18世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。</p> <p>②17～18世紀のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③17～18世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○
	<p>1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生</p> <p>【知識・技能】 大西洋の沿岸で起こった複数の「革命」にはどのような関係があったか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 大西洋の沿岸で起こった複数の「革命」にはどのような関係があったか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大西洋の沿岸で起こった複数の「革命」にはどのような関係があったか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①大西洋を取り巻く地域で起こった革命が、各地の社会構造に与えた影響を理解している。</p> <p>②大西洋を取り巻く地域で起こった革命が、各地の社会構造に与えた影響について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③大西洋を取り巻く地域で起こった革命が、各地の社会構造に与えた影響を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○
	<p>2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設</p> <p>【知識・技能】 イギリスの覇権に対して、欧米はどのように対抗したか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 イギリスの覇権に対して、欧米はどのように対抗したか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イギリスの覇権に対して、欧米はどのように対抗したか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を理解している。</p> <p>②国民国家形成の前後で、欧米諸国に生じた変化について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○
	<p>3章 世界の一体化の進展とアジアの姿</p> <p>【知識・技能】 欧米中心の国際分業体制のなかで、アジアはどのような改革を目指したのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 欧米中心の国際分業体制のなかで、アジアはどのような改革を目指したのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 欧米中心の国際分業体制のなかで、アジアはどのような改革を目指したのか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を理解している。</p> <p>②「西洋の衝撃」によるアジアの変化で、最も重大だと思われることについて、根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。</p> <p>③「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○
<p>4章 世界の一体化の完成とその影響</p> <p>【知識・技能】 帝国主義に基づく欧米の拡大は、各地域にどのような変化をもたらしたのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義に基づく欧米の拡大は、各地域にどのような変化をもたらしたのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義に基づく欧米の拡大は、各地域にどのような変化をもたらしたのか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①帝国主義が世界各地に与えた変化について、理解している。</p> <p>②帝国主義が世界各地に与えた変化について、欧米およびアジア・アフリカ・オセアニアの各地域ごとに考察し、表現している。</p> <p>③帝国主義が各地に与えた変化について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	

	<p>5章 世界大戦の時代</p> <p>【知識・技能】 なぜ世界は二度の大きな戦争を引き起こしてしまったのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 なぜ世界は二度の大きな戦争を引き起こしてしまったのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 なぜ世界は二度の大きな戦争を引き起こしてしまったのか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①二度の世界大戦が起こった理由を理解している。</p> <p>②第一次世界大戦の反省を踏まえた平和への取り組みは成功せず、第二次世界大戦が起こった理由について考察し、表現している。</p> <p>③二度の世界大戦が起こった理由を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	
	<p>6章 戦後の国際秩序と冷戦</p> <p>【知識・技能】 第二次世界大戦後の世界秩序はどのように形成されていったのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦後の世界秩序はどのように形成されていったのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の世界秩序はどのように形成されていったのか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①第二次世界大戦と冷戦構造の関係について理解している。</p> <p>②冷戦構造が形成されるなかで、アメリカ・ソ連・ヨーロッパ・第三勢力諸国の動きが冷戦構造に与えた影響について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③冷戦構造が世界にもたらした影響を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	
	定期考査（中間・期末）			○	○		
3 学 期	<p>1章 冷戦の展開と平和の模索</p> <p>【知識・技能】 冷戦期から現在まで、どのような紛争があり、それに対してどのような平和への取り組みが行われたのか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦期から現在まで、どのような紛争があり、それに対してどのような平和への取り組みが行われたのか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期から現在まで、どのような紛争があり、それに対してどのような平和への取り組みが行われたのか主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①冷戦期から現在まで世界各地で発生した紛争を理解している。</p> <p>②冷戦期から現在までの紛争の原因と解決方法について、共通点や相違点に着目しながら考察し、課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。</p>				12
	<p>2章 グローバル化する国際経済とその課題</p> <p>【知識・技能】 現在に至る国際経済の動きと課題はどのように形成されていったか、理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 現在に至る国際経済の動きと課題はどのように形成されていったか、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現在に至る国際経済の動きと課題はどのように形成されていったか、主体的に探究する。</p>	<p>・教科書、ワークシートの活用</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>①国際経済のグローバル化を理解している。</p> <p>②グローバル化に向かう世界経済に生じている課題について考察し、課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。</p>				
	定期考査			○	○		
							合計
							105